

平成元年十月二十五日提出
質問第五号

常磐線の輸送力強化に関する質問主意書

右の質問主意書を提出する。

平成元年十月二十五日

提出者 新村 勝雄

衆議院議長 田村 元殿

常磐線の輸送力強化に関する質問主意書

現在、JR常磐線は、全国一の混雑(三〇〇%)であり、沿線の人口増によって、通勤通学客の輸送事情は悪化の傾向にある。

常磐新線の建設は計画されているが、実現までには、相当の時間を要するものと思われる。常磐沿線の輸送需要にこたえるためには当面、現在の施設で最大限の能率をあげることが求められている。

よって、次の各項に答えられたい。

一 快速電車について、午前七時から八時の時間帯において、我孫子発上りをあと何本増発できるか。

二 緩行線(千代田線)について、午前八時から九時の時間帯において、日比谷発上りをあと何本

増発できるか。

三 移動閉塞システムはすでに完成の域に達しているといわれるが、いつ頃から実用に供されるか。

四 この装置が供用された場合、常磐線の快速、緩行それぞれは、何本の電車が運行可能であるか。快速は、我孫子発上り、七時から八時の時間帯について、緩行線は、日比谷発上り、八時から九時の時間帯について答えられたい。

右質問する。